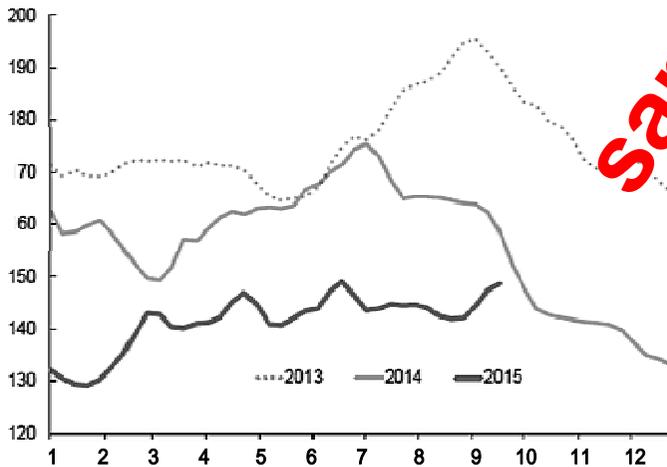


EUの豚マーケット分析 9月豚価上昇、しかし依然として前年を下回る～AHDB～

AHDB（英国農業園芸開発公社）によると、9月20日終了週のEU平均豚指標価格は4週前に比べ7ユーロ近く上昇し、100^{キログラム}当たり149ユーロ（1ユーロ133円換算で1万9千817円）に。価格は多少上昇し、6月中旬の水準まで回復したが、前年比では約6%安と下回ったままとなっている。輸出はその後増加したが、域内外での需要が弱く、供給増で価格は伸びなかった。

豚指標価格推移(100^{キログラム}当たりユーロ)

北欧州での価格が南欧州を上回っていた。ドイツの価格は100^{キログラム}当たり12ユーロ（1千596円）高、デンマークも6ユーロ（798円）高となったが、スペインは4ユーロ（532円）安、フランスも2ユーロ（266円）安だった。ホリディ・シーズンが終わったことで、南部では需要が低迷するなど影響を受けたようだ。

8月中旬の100^{キログラム}当たり42ユーロ（5千453円）から27ユーロ（3千591円）とユーロ建てでのイギリスとEU平均の価格は多少狭まった。

ポンド建てでも、^{キログラム}当たり30ポンド（1ポンド186円換算で5千580円）から^{キログラム}当たり20ポンド（3千720円）と価格差は縮まっている。

7月の豚肉輸出は対中輸出が増加し、7%増の14万4千700^{トン}。対中輸出は80%増の4万2千700^{トン}となったが、対日は27%減の2万4千800^{トン}。

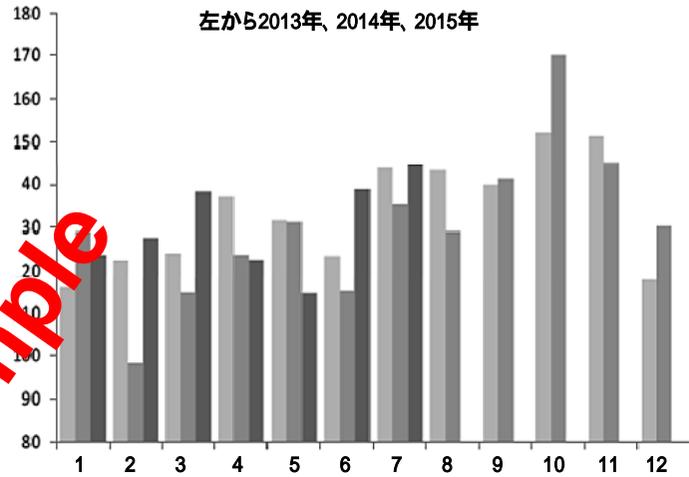
対韓輸出は19%増の1万4千300^{トン}。豪州への輸出は4%減の6千700^{トン}。対米輸出も22%減の5千900^{トン}。フィリピンは18%減の5千900^{トン}。香港も47%減の5千800^{トン}。

ユーロ安が輸出増に結びついた。^{ポンド}建てでの価格は前年比24%安。ユーロ建てでも7%安。

輸出額は微減の3億2千600万ユーロ（433億6千万円）。

豚肉輸出推移(1千^{トン})

左から2013年、2014年、2015年

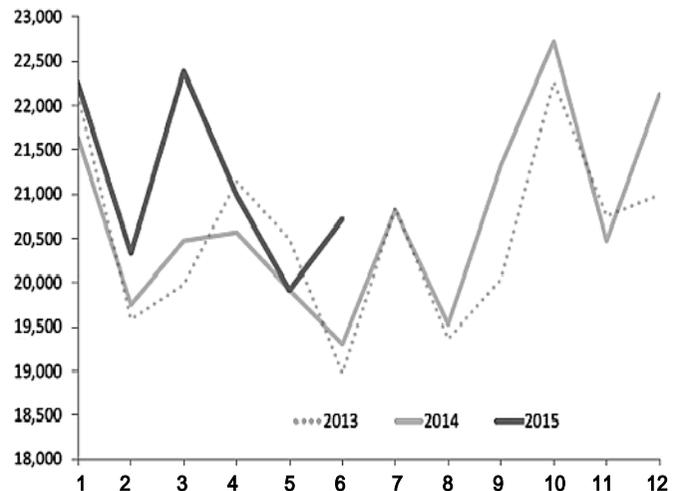


7月は内蔵輸出も17%増となり、10万4千200^{トン}。対中、対韓輸出増が総輸出を引き上げた。対中は44%増の5万4千900^{トン}。対韓は39%増の3千700^{トン}。

2015年1-6月の豚と畜頭数は4%増。2014年に子取り用の飼育頭数が増加したことで、と畜も増加した。

オランダのと畜頭数は2%増、ドイツも2%増。フランスは1%増。デンマークも1%増。枝肉も多少重量化しており、1-6月の豚肉生産は5%増の1千140万^{トン}。

と畜頭数推移(1千頭)



6月もEUのと畜増は継続しており、7%増の2千70万頭。これは稼働日数が1日多かったためだが、今後もと畜増は継続しそうだ

スペインのと畜頭数は10%増。フランス、ポーランドなどでも2桁近く増加した。